

職務経歴書

令和〇年〇月〇日

氏名

八戸 五郎

1. 応募職種：営業

2. 職務経歴

■ ▲▲物産株式会社

(事業内容)

建設資材の販売

期 間	平成4年4月1日～平成15年3月31日	雇用形態	正社員
職務内容	入社後 Y 支店の営業課に配属。金属パネルなどの外装工事を請け負い、建材メーカーや商社、大手建設会社との取引を担当。		
	平成11年に本社営業部へ異動。土地や建物の買い付け、斡旋を担当。この時期に宅地建物取引主任資格を取得。		
	平成14年に本社営業部で主任に昇格。後継者不足に悩む地方工務店等への省力化のコンサルタントを主に担当。		
	平成15年自己都合による退職		
	退職理由：郷里の父が急逝し、持病がある母がひとり暮らしになり地元への帰郷を決意。		

■ □□物産株式会社

(事業内容)

内装工事、防水工事

期 間	平成15年6月1日～令和7年1月31日	雇用形態	正社員
職務内容	入社後 T 営業所に配属。工事見積もり・入札・受注・工事管理・外注会社への手配など営業担当として一連の業務を担当。前職にて関係のあった AB 建設、XY 建設など大手建設会社との人脈を活用し積極的に営業活動をする。		
	平成17年に T 営業所で営業係長へ昇格。官公庁への営業を担当。新規開拓を積極的に実施。T 市内及び近隣市町村の公的施設（病院、役所など）の内装工事を受注する。また、外注業者の選定や見直しを行いクレームを減少に貢献。		
	平成24年に T 営業所の所長代理に昇格。営業、業務、施行と3部門を統括。施行担当者の技能向上のため技能検定受講を奨励。1級技能者2名、2級技能者3名輩出。		
	平成26年に H 営業所所長に異動。リフォーム会社との提携によりマンションや個人宅のリフォームを手がける。		
	令和7年早期退職制度に応募しての退職		
	退職理由：会社全体のリストラのため営業所の統廃合がなされ、勤務していた H 営業所が吸収されることになることをきっかけに早期退職制度に応募。		

3. 自己PR

私は営業職を長年担当しておりましたが、以下の点に特に力を入れて業務を担当しておりました

1. 担当した顧客へのアフターフォロー

工事が完了した会社や役所へも、工事後半年間は毎月、以後は年2回と積極的に訪問し、不具合の有無について確認し、顧客からの信頼を得るように努めておりました。

2. クレームには最優先で対応

担当した百貨店様の内装工事について外注業者のミスによりトラブルが発生した際にはすぐに資材と職人を手配し修理を実施。翌日からの営業に支障が無い状態にしたことにより信頼の回復に成功しました。

3. 職人・技能者を大事にする

現場で実際に作業をする職人や技能者があつての営業であるため、営業の都合だけで業務を進めないよう心がけ、職人・技能者との良好な関係性の構築に努力しました。また、職人や技能者が社会で通用する技能を習得していただくための動機付けとして厚生労働省の技能検定受検を奨励し技能検定資格を持つ技能者を多く輩出しました。

所持資格：宅地建物取引主任者（平成12年取得）

4. 志望動機

私は、31年間一貫して建築業界で働いてきました。特に内装工事については個人住宅からマンション、公共施設まで幅広く手がけてきました。

貴社はマンション住宅の賃貸、引っ越し部門で全国的に急成長しておられます。引っ越しや賃貸マンションの維持管理には、ハウスクリーニングや内装改修等が必要かと思われませんが、その手配については私のこれまでの経験・知識がすべて生かせると思います。

また、賃貸契約などの実務については、不動産部門での実務経験と宅地建物取引主任者の資格を生かしてあたりたいと考えます。

顧客開拓の面では、建設メーカーなど大手企業や官公庁の人脈を活かして、賃貸の会社契約を獲得する営業活動ができると確信しております。